



埼玉日産自動車株式会社 一般事業主行動計画書

社員が仕事と子育てを両立することができ、社員全員が働きやすい環境を作ることによって全ての社員がその能力を発揮できるよう、次のように行動計画を策定する。

①計画期間 2019年4月1日～2024年3月31日（当面5年間）

②当社の課題

- 1) 従業員に占める女性労働者の比率（現在15.3%）が低い。
- 2) 安定した女性採用が出来ておらず、女性社員の増加に繋がっていない。
女性採用比率：28.6%（2019年入社）、12.5%（2018年入社）
- 3) 有給休暇が取得しづらい。
- 4) 育児・介護休業法について社内に周知されていない。

③目標と取組み内容



目標1：新規採用者に占める女性割合を40%を目指します

継続実施

採用ツールの見直しを図り、会社説明会に先輩女性社員を積極的に参加させ、女性も活躍出来る企業であることを最大限アピールする。

2019年4月～

募集職種に営業職（CA）に加え、女性サビスポット（TA）を追加し、応募の機会を増やす。



目標2：既にある育児・介護休業に関する諸制度を全社員に周知徹底

継続実施

・育児・介護休業法及び社内の規定チラシを作成、相談窓口を設置、社員に周知する。

2019年4月～

- ・不妊治療を目的とした休暇制度（時間単位の休暇制度等）の導入を検討する。
- ・子どもの看護休暇に関する対象範囲を現在規定で定めた対象範囲（小学校就学始期迄）を小学校3年生まで拡大出来るよう検討する。



目標3：働き方改革への取組みを更に強化

継続実施

- ・長時間労働の抑制と仕事の効率を図るため月に2回、ライトダウンデーを実施。
- ・勤怠管理の強化を目的に勤怠管理システムの刷新。

2019年4月～

- ・年間休日114日中、店舗定休日を75日→90日に拡大し、プライベートの充実を図る。
- ・リフレッシュ休暇（定休日を含めた3連休）の取得推進（有給休暇使用）。
- ・四半期ごとに最低1日は有給休暇を取得すること。



目標4：地域の子供の職場見学、インターシップ等の就業体験の機会を提供する

継続実施

- ・全店舗に『こども110番』『赤ちゃんの駅』のステッカーを添付し、託児室、授乳コーナー、乳幼児と一緒に利用できるトイレの設置。
- ・地域の小・中学校の社会化見学（職場体験）の授業に協力し、大学生・短大専門学校、更に外国人留学生向けインターンシップ（就業体験）の機会を提供する。